

主な理由：Equinixでの APEX Data Storage Services¹

10

究極の柔軟性と選択肢：アズアサービスリソースを、最大の価値をもたらす場所に簡単に導入

1 | データセンター管理の負担を軽減

複雑な予測、調達、データセンターの計画および移行のサイクルを排除することで、運用をシンプルにし、ITスタッフが付加価値の高い活動に注力できるようにします。直感的に操作できるAPEX Consoleを使用して、アズアサービスの導入と活用状況全体の管理を数クリックで行えます。

2 | 問い合わせ窓口および請求をデル・テクノロジーズに一元化

APEXは、真のストレージアズアサービスを実現します。OpExとして会計処理できるように設計され²、Equinixのデータセンターに配置されます。すべてがDellから一括請求され、オンデマンド使用に対する超過料金が発生しない、単一レートの明確な価格設定です。さらに、カスタマーサクセスマネージャーが割り当てられるため、そのメリットとして複数の関係を管理する必要がありません。双方にとって便利な形です。

3 | 特定のベンダーに縛られることなくハイブリッドかつマルチクラウドな接続を活用

最大の価値をもたらす顧客、パートナー、エコシステムに接続できます。Equinixは、APEX Data Storage Servicesインフラストラクチャからお客様が選択したクラウドへの、安全で低レイテンシーなソフトウェア定義のインターコネクション（相互接続）を実現します。そのため、特定のベンダーに縛られることも高額なデータ出力料金もなく、複数のパブリッククラウドプロバイダーの機能を利用できます。

4 | 実際の使用量と予想使用量を比較して支出を調整

ストレージ容量、パフォーマンス、コロケーションサービスに対して必要なときに必要な分だけ料金を支払う方式なので、予測できないワークロードに伴う多額のCapEx購入や問題を回避できます。Equinixによってクラウド接続コストを最大70%削減³でき、APEX Data Storage Servicesによって導入時間を最大86%短縮⁴できます。

5 | ビジネスを成長させ、新しい地域に迅速に進出

新しい地域へのビジネスの拡大とそれに伴うIT運用に関連する従来の課題を解消できます。最大限の価値をもたらす場所にストレージリソースを簡単に導入できるのです。

6 | ワークロードの価値を最大限に引き出す

アプリケーションのレジリエンスは基盤となるインフラストラクチャによって決まります。Equinixのデータセンターでは、お客様の最も重要なITインフラストラクチャをサポートする施設の設計に関して「単一障害点なし」の設計方針を採用しています。APEX Data Storage Servicesは99.9999%の可用性を実現できるように設計されています⁵。DellとEquinixの運用スタッフが24時間365日体制で対応するため、お客様はIT全体のレジリエンスが最適な状態に管理されていると把握しながら、安心して眠ることができます。

7 | 最も貴重な資産であるデータを保護

プライベート クラウドを導入する主な動機は、データの制御を維持できることです。物理的なセキュリティも、Equinixコロケーション サービスの核となる理念です。専用インフラストラクチャを備えた安全なコロケーション施設を利用することで、データに対する完全な制御を維持し、データが存在する場所を正確に把握できるため、データ ローカライゼーション、規制、監査、コンプライアンスの要件を満たすことができます。

8 | 持続可能性を優先

Equinixのデータセンターでは環境の持続可能性を大切にしており、2030年までにクライメイト ニュートラルを実現することを目標としています⁶。適応性に優れた制御システムから、燃料電池、エネルギー効率まで、リソースの使用を最適化しています。APEX Data Storage Servicesインフラストラクチャは、電磁両立性、製品の安全性、環境規制に関するすべての規制条件に準拠しています。利用中止となったシステムのデータをサニタイズし、すべてのデータを復元不能にすることでリスクを根絶します。返送されたシステムを再生またはリサイクルすることで電子廃棄物をなくし、持続可能かつ再生可能な形での資源利用を促進します。

9 | コスト効率に優れたハイブリッドDRソリューションの構築

オンプレミス ストレージからEquinixのAPEX Data Storage Servicesへのネイティブなレイバースのレプリケーションを利用してディザスター リカバリーを行えるため、新たなデータ センターやインフラストラクチャを構築する必要はありません。テストやフェールオーバーには、Equinix Metal (Dellのコンピューティング オプションを含む) またはパブリック クラウドによるオンデマンド コンピューティングを利用できます。

10 | グローバルな規模、業界をリードするテクノロジー、ITの専門技術：すべてがお客様の成功に貢献

デル・テクノロジーズとEquinixは、信頼できるITインフラストラクチャ プロバイダーであり、明確なリーダーでもあります。Equinixは最近、世界規模のデータセンター コロケーションおよび相互接続サービス業界に関する2021年のIDC MarketScapeレポートでリーダーに選出されました⁷。デル・テクノロジーズは、エンタープライズ ストレージにおける業界No.1のリーダーです⁸。2社が連携することで、複雑なインフラストラクチャ導入においてリスクを回避できます。

APEX Data Storage Servicesの詳細については、Dell.com/APEX-Storageをご覧ください。



詳細情報：
APEX Data Storage
ServicesとEquinix



デル・テクノロジーズの
エキスパートに
問い合わせる



他の関連資料を
見る



#DellAPEX
で会話に参加

¹ Dellが管理するコロケーション導入の各地域における提供状況については、Dell.com/Access-APEXを参照してください。

² OpExとしての会計処理については、お客様の社内の会計レビューとポリシーに従うものとします。

³ Equinixの委託によりForrester Consultingが実施した調査結果『The Total Economic Impact of Equinix』（2019年4月）。

⁴ デル・テクノロジーズの委託によりForresterが実施した調査『New Technology Projected Total Economic Impact』（2021年6月）。APEX Data Storage Servicesを使用している4つの組織への聞き取り調査（結果を集約して1つのモデル組織に統合）と、その他のIT導入決定者121人からのアンケート回答に基づく3年間にわたる推定値です。実際の結果は異なる場合があります。レポート全文。

⁵ 基盤となるプラットフォームの一般的な構成でのハードウェアの可用性に基づきます。実際のハードウェアの可用性は異なる場合があります。

⁶ <https://www.equinix.com/newsroom/press-releases/2021/06/equinix-sets-2030-global-climate-neutral-target>

⁷ 『IDC MarketScape: Worldwide Datacenter Colocation and Interconnection Services 2021 Vendor Assessment』（Courtney Munroe著、文書番号US46746121、2021年6月）。

⁸ IDC、『Worldwide Quarterly Enterprise Storage Systems Tracker, 2021 Q4 Historical Release』（2022年3月10日）。ベンダー売上別ランキング。

© 2022 Dell Inc. その関連会社。All rights reserved.（不許複製・禁無断転載）Dell、EMC、Dell EMC、ならびにこれらに関連する商標およびDellまたはEMCが提供する製品およびサービスにかかる商標はDell Inc.またはその関連会社の商標または登録商標です。

DELLTechnologies

A P E X